

事業所名	太陽のしずく		公表日 2025年 3月 21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員10名に対し、活動スペースは適切に確保されている。 ・放課後と休日で活動場所が違う。 〈放課後〉 ・活動場所は太陽のしずく本館、別館、和、プレハブ、いっぽ、ログハウスの6か所。 ・小学生は別館、中学生・高校生は和を使用。小学生と中・高生で過ごす場所をわけている。 ・外遊び等屋外での活動は、しずく村を活用している。 ・小学生は本館、プレハブ、ログハウスで宿題を済ませてから、別館に移動している。 ・別館、和は生活介護の利用者として入れ替えて、15時頃から使用している。 〈休日〉 ・活動場所は望井の家を使用している。 ・望井の家は平屋の一軒家。和室2室、洋室1室とコンパクトな間取りだが、十分に対応できている。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員10名に対し、毎日4名の職員を配置している。適切な配置数だと思われる。 ・放課後職員の見守りが手薄だと感じられる場合は、安全を確保するため生活介護の職員に協力を仰いでいる。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 〈生活空間〉 ・1日のスケジュールや送迎車等が一目でわかるように、ホワイトボードを活用して視覚的に支援している。 ・ランドセルやおもちゃ等の棚は、文字や写真で置き場所を指定することで、自発的に片づけができるように工夫している。 〈事業所の設備等〉 ・建物の構造上、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が難しい。 ・危険な箇所は警戒用テープを貼ったり、カラーコーンを置いて警告することで、視覚的に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後別館は修繕の予定がある。環境上の配慮がなされる計画がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生は別館、中学生・高校生は和と過ごす部屋がわかれていたため、お互い心地よく過ごせている。 ・別館の老朽化が激しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後別館は修繕の予定がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンが必要なお子さんや、ひとりで過ごしたいお子さんは、職員の見守りのもと別室で過ごしている。 ・個室を希望するお子さんには、放課後はいっぽ、プレハブ、ログハウス、休日は望井の家の小さい和室を使用して頂いている。使用する部屋は、お子さんと相談して決めている。 ・気持ちの切り替えが必要なお子さんには、職員と体を動かしたり、車でドライブをして気分転換を図って頂いている。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前のミーティングでその日の重点目標を定め、支援終了後のミーティングで振り返りを行い、PDCAサイクルを意識して取り組んでいる。 ・PDCAサイクルに滞りが生じた場合は、療育アドバイザーにアドバイスを頂き、職員会議で全職員と情報共有をし、支援に反映している。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・頂いたご意見をもとに職員間で改善点を話し合い、支援の質の向上や業務改善につなげている。 ・保護者向け評価表だけでなく、送迎時など直接保護者とお会いする機会に意向等を確認している。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日支援開始前と支援終了後のミーティングで職員に意見を聴取し、支援の質の向上につなげている。 ・簡単な打ち合わせは行っていたが、今年度は人員の関係で担当職員の月例会議が開催できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は担当職員の月例会議を開催したい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は受けていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・法人・事業所主催の研修、外部の研修に積極的に参加している。 ・法人主催の研修は、対人援助の研修に参加した。 ・事業所主催の研修は、虐待防止、防災、感染症対策の研修に参加した。 ・外部の研修は、TEACCHプログラム、千葉県社会福祉協議会主催の研修に参加した。 ・今年度は児童発達支援管理責任者が、ファミリーサポートセンター事業基礎講習会、雷津市障害者総合支援協議会子ども部会のスキルアップ講座に参加した。 	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で会議を開催して支援プログラムを作成し、ホームページで公表している。 		

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 適切なアセスメントを行いニーズや課題を分析して、放課後等デイサービス計画を作成している。 ニーズの収集は、お子さん、保護者と面談をしたり、アンケートを実施して把握に努めている。 	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービス計画は、職員会議で児童発達支援管理責任者と担当職員の複数名で作成している。 児童発達支援管理責任者と担当職員が話し合いながら、共通理解のもと作成している。 	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 支援開始前、支援終了後のミーティングで、児童発達支援管理責任者が計画のポイントを職員に伝え、計画に沿った支援を提供していた。 今年度は職員会議等で、全職員と共有する機会が設けられなかった。 職員が放課後等デイサービス計画を閲覧できる環境は整っている。 	職員間で共有する機会を検討していく。
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 日々の行動観察、保護者、お子さんとの面談、関係機関からの情報収集をもとに評価を行うインフォーマルなアセスメントは行っている。 標準化されたアセスメントツール等、フォーマルなアセスメントは行っていない。 	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスガイドラインをもとに、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」を適切に設定している。 支援内容はお子さんの得意や強みをさらに伸ばせるよう、具体的に設定している。 	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> どろん子会議でお子さんたちから意見を聞き取り、プログラム担当職員を中心にチームで立案している。 人員の関係で、今年度は月別のプログラム会議が開催できなかった。 	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 定期的にお子さんたちがどろん子会議を開催し、やりたい活動を話し合っている。お子さんの要望を取り入れているため、固定化する活動もある。 放課後の活動は自分で考えて行動することを目的に、その日やりたい活動をお子さん自身で考え、職員と相談しながら決めている。 休日の活動はみんなで楽しむことを目的に、外出や行事等余暇的要素を取り入れている。 予定した活動に対してお子さんから別の提案を頂いた場合は、可能であれば変更し柔軟に対応している。 	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 個別活動、集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している。 個別活動は学習支援、雑貨製作、外出の支援、高校受験対策等々。お子さん、保護者からのニーズを踏まえて計画を作成し、支援している。 集団活動はおでかけ、地域交流、社会科見学、クッキング等々。楽しみながら協調性や社会性が育める活動を計画に取り入れ、支援している。 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 毎日支援開始前にミーティングで情報を共有し、チームで連携して支援を行っている。 ミーティングでは、利用するお子さん、下校時間、活動内容、担当するお子さん、前日の引継ぎ事項、その日の支援における重点目標、支援の内容や役割分担等々、詳細に確認している。 	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 毎日支援終了後にミーティングを行い、情報を共有している。 ミーティングでは、支援の振り返りや気づいた点、その日の重点目標の達成度等を職員間で話し合い、翌日の支援につなげている。 	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 毎日お子さんの様子や課題を業務日誌に記録し全職員と共有することで、その後の支援につなげている。 毎日育ちの記録（連絡帳）にお子さんの様子を記録し、保護者へ報告しご家庭と連携を図っている。 	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月に1回モニタリングを行い、計画の見直しの必要性を検討している。 上半期のモニタリングは児童発達支援管理責任者と担当職員が個別に行い、下半期は児童発達支援管理責任者と担当職員がチームで適切な見直しを行った。 	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 4つの基本活動「日常生活の充実と自立支援のための活動」、「多様な遊びや体験活動」、「地域交流の活動」、「子どもが主体的に参画できる活動」を複数組み合わせ支援を行っている。 	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 放課後、休日ともに、自己選択ができるような機会を意図的に設けている。 放課後はおやつや遊び、休日はおでかけする場所や昼食等、可能な限り自分で考えて計画を立てて頂いている。決められないお子さんは、職員がアシストしている。 	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 富津市基幹相談支援センターや学校主催の支援会議に、児童発達支援管理責任者が参加している。 今年度は、障害児相談支援事業所からサービス担当者会議の参加の要請はなかった。 	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携しているが、地域の保健機関との連携体制は整っていない。 ・医療は、事業所の協力医療機関との連携体制が整っている。 ・障害福祉は、富津市基幹相談支援センター、児童家庭支援センター、相談支援事業所等と連携している。 ・保育は、近隣の保育所と連携している。 ・教育等は、お子さんの学校と連携を図っている。 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の了解のもと、月1回対面、電話にて学校の先生と情報を共有している。また、緊急性の高い案件が発生した場合は、都度連絡を取り合っている。 ・年間計画表・行事予定表、下校時刻表は、各学校から頂いている。 ・連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）は、先生と適切にやりとりしている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は対象者がいなかった。 ・例年保護者に了解を頂き、通所していた保育所等に訪問し情報の共有を行っている。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は1名が対象。要請があれば対応したい。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターとの連携は図れていないが、月1回療育アドバイザーからスーパーバイズを受けている。 ・富津市基幹相談支援センター、児童家庭支援センター、相談支援事業所等と連携を図り、定期的に情報共有を行っている。 ・富津市障害者総合支援協議会子ども部会の研修に児童発達支援管理責任者が参加している。 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度夏、近隣の放課後児童クラブと2回交流会を行った。 	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が、富津市障害者総合支援協議会子ども部会に参加している。 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅時にお子さんのその日の様子だけでなく、成長や変化等感じたことも保護者にお伝えしている。 ・伝達の方法は面談だけでなく、連絡帳や電話、メールを活用している。 ・緊急性の高い案件は、事業所やご自宅でゆっくり面談する機会を設けている。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムの提供はしていない。 ・家族等が参加できる研修の実施や、研修の情報提供は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・富津市子育て交流会や家族等が参加できる研修の情報提供を行っていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの説明は、契約時に丁寧にしている。 ・利用者負担については、行事にかかる自己負担金を年度のはじめに保護者へお知らせし、参加の可否を確認している。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さん、保護者の意思を尊重し、お子さんの最善の利益を優先するために、お子さん、保護者と面談をしたり、アンケートを実施して意向を確認している。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さん、保護者に放課後等デイサービス計画を示しながら、わかりやすい言葉で説明し、同意を得ている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が窓口となり、電話、メール、面談で助言をしたり、必要な支援を行っている。 ・専門性を要する案件は、療育アドバイザーや富津市基幹相談支援センター等にアドバイスを頂いている。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・11/29に交流会（保護者会）を開催し、お子さん、保護者、きょうだい参加し、交流を深めた。 ・父母の会は発足しておらず、きょうだい同士が交流する機会も設けていない。 	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は苦情がなかった。 ・事業所に苦情受付担当者、苦情解決責任者を配置し、対応の体制を整えている。 ・対応について、契約時に保護者に周知しているが、お子さんには周知できていない。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月活動スケジュールを配布し、翌月の活動予定だけでなく、活動の様子を写真で報告している。 ・活動の様子をおさめた動画をお子さんが制作し、YouTube上で保護者に限定公開しているが、今年度は配信できなかった。 	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いには、十分留意している。 		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんとのやりとりは言葉だけでなく、写真やイラスト、文字を用いて視覚化を図っている。 ・保護者とのやりとりは、面談、電話だけでなく、メールでもやり取りしている。 		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、にこちゃん喫茶7周年イベント、納涼祭、しずく村FESTAに地域住民を招待し、たくさんの方にお越し頂いた。 ・長浜地区のみなさんが、週1回しずく村に集いいきいき百歳体操を行っている。 ・にこちゃん喫茶に地域の方が来店して下さったり、地域のイベントに出店させて頂いている。 ・今年度も富津市民文化祭に作品を出展し、地域の方にチームどろん子の活動を知って頂く機会を設けた。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは事業所で策定しているが、事故防止マニュアルは策定していない。 ・職員には周知しているが、保護者に周知できていない。 ・災害を想定した避難訓練や感染症対策の訓練は実施している。 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（BCP）は策定している。 ・生活介護の利用者と全職員で、避難訓練を年3回実施している。うち富津市消防署立ち合いの訓練を年1回実施した。 ・お子さんは、太陽のしずく、望井の家の2か所で、地震を想定した避難訓練を実施した。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		<p>〈服薬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に確認し、薬の説明書を提出して頂いている。定期薬が追加された場合は、都度説明書の提出をお願いしている。 <p>〈予防接種〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生以降の定期予防接種の情報や、母子手帳の提出は求めている。 ・例年秋頃看護師が、インフルエンザワクチン予防接種のお願いをしている。 <p>〈状況について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・てんかん発作やお子さんの疾病等の状況は、契約時に確認している。病状に変化がないか、保護者等に聞き取りをし後追いをしている。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの申告を受けている子どもは現在1名。保護者の情報に基づいて、対象のお子さんにアレルギー食材を提供しない対応を講じている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、全職員が必要な研修、訓練を受けている。 ・安全管理が十分された中で、日々の支援が行われている。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のBCP計画に安全計画に基づく取組内容は明記されているが、家族に周知できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、周知の方法を検討したい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災環境係が、ヒヤリハット事例集を作成している。 ・日々のヒヤリハットは終業後のミーティングで共有し、業務日誌、ヒヤリハットファイルに記載し、周知している。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は4月、9月の2回、事業所主催の虐待防止身体拘束適正化検討委員会の研修に、全職員が参加した。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス計画作成時に、身体拘束について複数の職員で話し合い、検討した上で決定している。 ・記載する場合は、お子さん、保護者に説明し、了解を得ている。 		